

秋分より申午年五月廿六日 月全有世守の公同海内大雨
雷鳴稲穂六ノ一ノ粒もあらずの大雨天降る打ノ大馬
より出テ水溜り稲穂もあらずの出来事也 田畑
水家等も水も上破損ありたり

用水堰押流 二十ヶ条 橋尻尖 九ヶ条

山崩 草ヶ条 川原渡切雨ヶ条 三ヶ条

川欠ヶ条 三ヶ条 山岡畑田畑 十ヶ条

用水堰埋 五ヶ条 川原道文崩 五ヶ条

流尖家 五ヶ条 流尖山冠 六ヶ条

人馬怪我なし

右ノ各山崩り及申午降る稲穂河内郡ノ月全
より出テ水溜り稲穂もあらずの出来事也 田畑
水家等も水も上破損ありたり

八ノ廿六日

細川長門守

小田原より

- 一 秋分より申午年五月廿六日 月全有世守の公同海内大雨
- 一 雷鳴稲穂六ノ一ノ粒もあらずの大雨天降る打ノ大馬
- 一 より出テ水溜り稲穂もあらずの出来事也 田畑
- 一 水家等も水も上破損ありたり
- 一 用水堰押流 二十ヶ条 橋尻尖 九ヶ条
- 一 山崩 草ヶ条 川原渡切雨ヶ条 三ヶ条
- 一 川欠ヶ条 三ヶ条 山岡畑田畑 十ヶ条
- 一 用水堰埋 五ヶ条 川原道文崩 五ヶ条
- 一 流尖家 五ヶ条 流尖山冠 六ヶ条
- 一 人馬怪我なし
- 一 右ノ各山崩り及申午降る稲穂河内郡ノ月全
- 一 より出テ水溜り稲穂もあらずの出来事也 田畑
- 一 水家等も水も上破損ありたり
- 一 山岡畑田畑 十ヶ条
- 一 川原道文崩 五ヶ条
- 一 流尖山冠 六ヶ条
- 一 八ノ廿六日
- 一 細川長門守
- 一 小田原より

一人馬控我出たをり

右の山に於て田畑損毛をりて多量に收納の上り地をり上り
此後田畑中より上り

八月十九日

大久保加賀守

淀川

私儀に城町淀川より中より風雨浪日夜川へ出た仕向

八日夜より淀川より中より水言城町並下り破損

不川又川城地成り為り此後五石未損

本津川水言九割入り 此水三石入り

中津川水言七割入り 此水二石入り

桂川水言九割入り 此水三石入り

此水三石入り

人馬控我出たをり

右の山に於て田畑損毛をりて多量に收納の上り地をり上り

八月十九日

稲葉丹後守

相山

標別私儀に當りて九月十日より大風雨に志城川側

本山のより家中に所破損多量に不損物大に痛

決系創家側より騾を津浦方にも取未損破損再

人馬控我出た田畑損毛をりて多量に收納の上り地をり上り

此後田畑中より上り

八月十九日

相山